

はじめに

篠栗町では、防災や災害に関する情報を提供することで、町民の皆さまが住んでいる地域の危険性を知り、災害に対する事前の備えや危機が迫った際の適切な行動を考え、実践できるようになっていただくことを目的に、この「篠栗町防災マップ」を作成しました。

ご家庭の見つけやすい場所に置いて、家族や地域での話し合いなどにご活用ください。

●防災マップの使い方

ステップ1

自宅の位置や避難場所を確認する

国道や県道の位置、学校や公共施設などの位置を参考に、自宅や避難先の位置を確認しましょう。
また、家族が滞在する場所(職場や学校など)の位置も確認しましょう。



※避難先は、町が指定する避難場所のほか、安全な場所にある親戚や知人の家なども考えられます。

ステップ2

自宅周辺などの災害リスクを確認する

防災マップでは、浸水や土砂災害などの危険が高い場所に着色や線で囲み表示をしています。着色等がない場所でも、周り比べて低い土地、水路や崖のそばなどは、危険となる場所もあります。併せて確認しましょう。



ステップ3

正確な情報の入手先を確認する

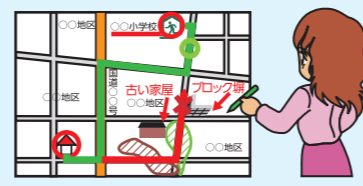
避難を判断するためには、正確な情報収集が大切です。「早めの情報収集が防災の要(3P)」を参考に、どこでどのような情報が入手できるかを、あらかじめ調べておきましょう。



ステップ4

避難先を決め避難経路を設定する

どのような状況で、どこに避難をするかを決定したら、避難経路を設定しましょう。大雨時は、橋や水路を避けるなど、想定される災害に対応した安全な経路を検討してください。



ステップ5

実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認する

避難経路を設定したら、実際に歩いてみましょう。避難経路上に新たな危険箇所があった場合には、経路や避難先を見直し、防災マップにも書き込みましょう。



ステップ6

非常持出品・備蓄品を準備する

「非常持出品・備蓄品(17P)」を参考に、避難時に持ち出すものや大災害後に使用する保存食などを準備しておきましょう。



ステップ7

家族や地域で話し合おう

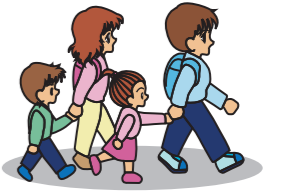
防災マップを使って、家族で話し合い、災害時の役割分担や災害時の連絡方法などを確認しましょう。また、地域での訓練や協議で活用し、地域のつながりや防災力向上にお役立てください。



【避難について考える】

適切な避難行動を知る

どんな状況で、どんな避難行動をするべきかを平常時から考えておきましょう。



●避難情報(警戒レベル)と皆さんがとるべき行動

警戒レベル	状況	とるべき行動	行動を促す情報	避難行動をとる際に参考とする防災気象情報等	
篠栗町が発令	5	災害発生または切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保※1	・大雨特別警報(浸水・土砂災害) ・氾濫発生情報
	警戒レベル4までに必ず避難!				
	4	災害のおそれが高い	危険な場所から全員避難	避難指示	・土砂災害警戒情報 ・危険度分布「非常に危険」 ・氾濫危険情報(多々良川)
	3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難	・大雨警報(土砂災害) ・洪水警報 ・危険度分布「警戒」 ・氾濫警戒情報(多々良川)
	2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	・大雨注意報 ・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)	早期注意情報(警報級の可能性)	

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、【警戒レベル5】は、必ず発令されるものではありません。
※2 【警戒レベル3】は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。また、警戒レベル3を発令せずに警戒レベル4を発令することもあります。

- ⚠ 避難とは、難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ⚠ 避難時の状況によっては、指定された避難場所等へ向かうことにこだわらず、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、その時点の最善な安全確保行動をとることが重要です。
- ⚠ 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。
- ⚠ 警戒レベルの発令情報は、防災無線(テレフォンサービス)、防災メール、町ホームページ、町LINE、テレビ(データ放送)などで確認できます(詳細は3P)。
- ⚠ 警戒レベル4以上を発令した場合は、防災行政無線で以下のような通知を放送します。「サイレン30秒(ウー)」「アナウンス(地区に警戒レベル4を発令します)」「サイレン30秒(ウー)」